湯川秀樹と大阪大学

湯川秀樹の黒板 披露式典

大阪大学理学研究科, H701, 2014年5月13日

細谷　裕

大阪大学理学研究科, 大阪大学総合学術博物館湯川記念室

1907年1月23日　東京に生まれる

1929年　京都帝国大学理学部物理学科卒業

1933年(26歳)　大阪帝国大学理学部講師（兼任）

1934年(27歳)　大阪帝国大学理学部講師（専任）

11月17日　中間子論に関する論文発表

1936年(29歳)　大阪帝国大学理学部助教授

1938年(31歳) 4月5日

大阪帝国大学より理学博士の学位を取得

1939年　京都帝国大学理学部教授

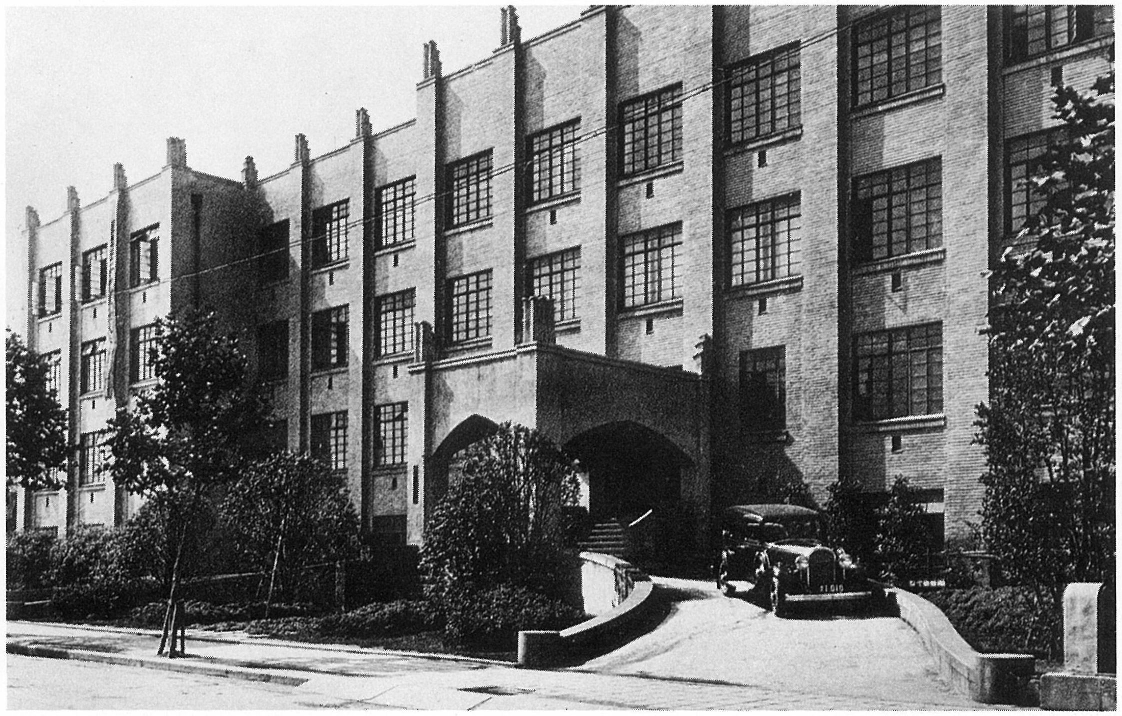
1949年(42歳)コロンビア大学（USA）客員教授

ノーベル物理学賞受賞

1950年(43歳)　大阪大学名誉教授

1953年　大阪大学湯川記念室発足

1981年9月8日　永眠



大阪帝国大学理学部（中之島）

大阪大学にて

1933 - 1939

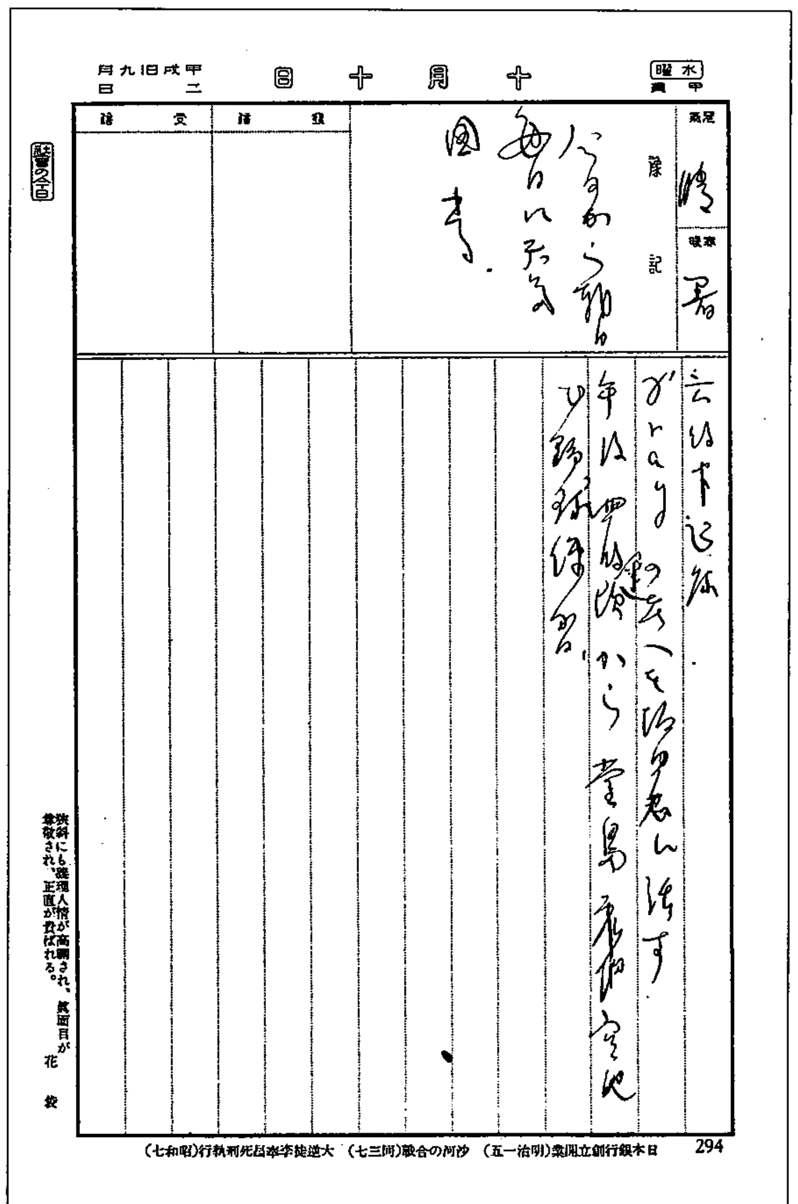
ここにいると、
何か仕事をせずにはおれない
ような気持ちになる

物理学科の構成

八木秀次（通信）	ー	岡部金治郎	ー	林　龍雄
				渡瀬　譲
岡谷辰治（相対論）	ー	湯川秀樹	ー	坂田昌一
友近　晋（流体）	ー	岡　小天	ー	伏見康治
浅田常三郎（物性）	ー	沢田昌雄	ー	奥田　毅
菊池正士（原子核）	ー	山口太三郎	ー	青木寛夫
		中川重雄		

理学部（中之島）屋上にて

γ' *ray* のひらめき



昭和9年(1934)10月10日

日記　昭和9年(1934) 10/9 ~ 10/12

10月10日　水曜　晴　暑

6時半起床

γ' rayの考へを坂田君に話す

午後4時半頃から堂島空地で野球練習

10月11日　木曜　晴　暑

6時半起床。登校。

午後演習、談話会、池原、山口

γ' rayの話、菊池さん等と話し合う

$\gamma'\ ray$ = パイオン (π中間子)

湯川は核力を説明するために
新しい粒子の存在を予言した

湯川の最初の論文

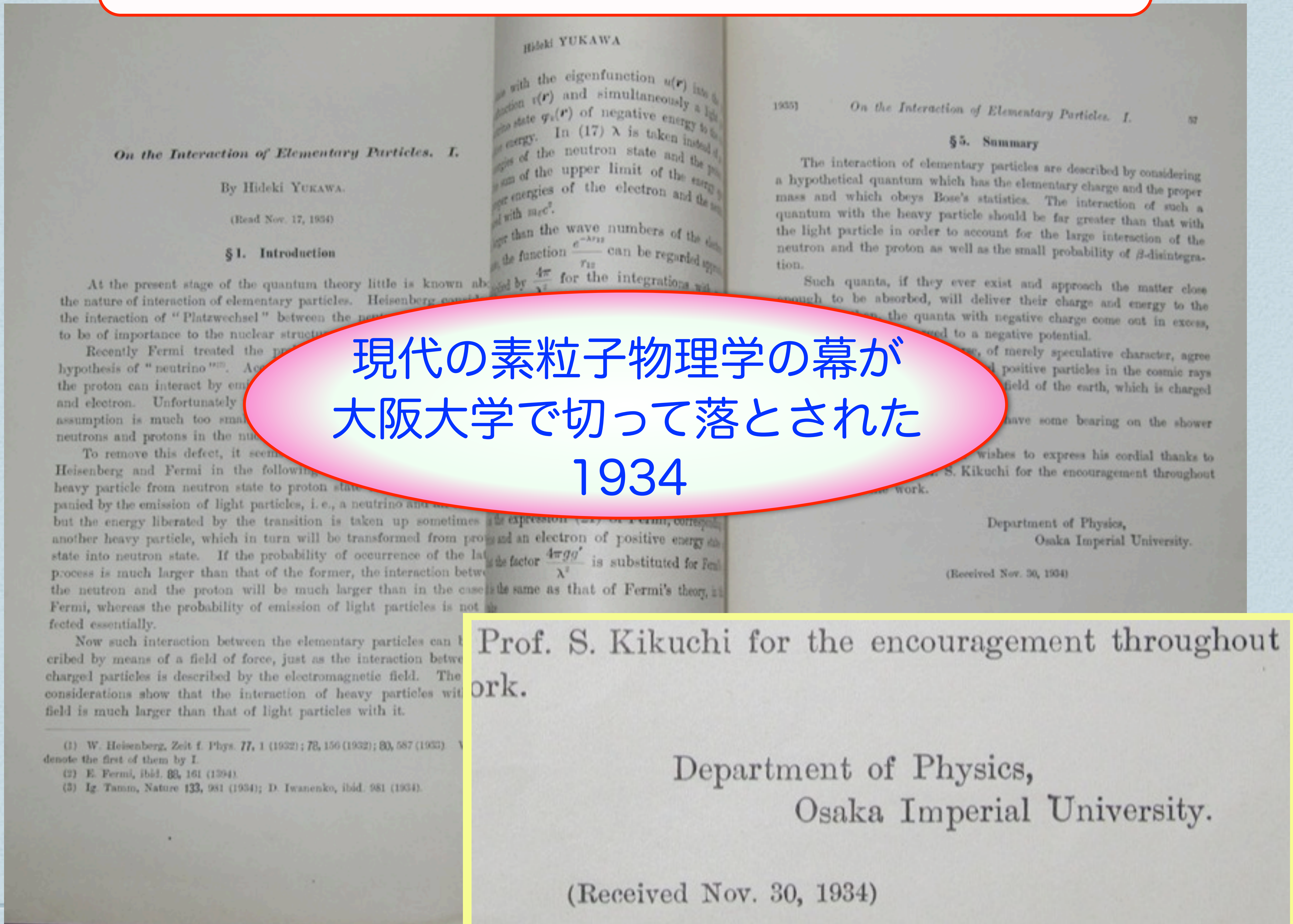
On the Interaction of Elementary Particles, I

Proc. of the Physico-Mathematical Society of Japan,
Vol. 17, No.2, February 1935, 48 - 57

ノーベル賞

On the Interaction of Elementary Particles, I

Proc. of the Phys-Math. Soc. of Japan, Vol. 17, February 1935, 48 - 57



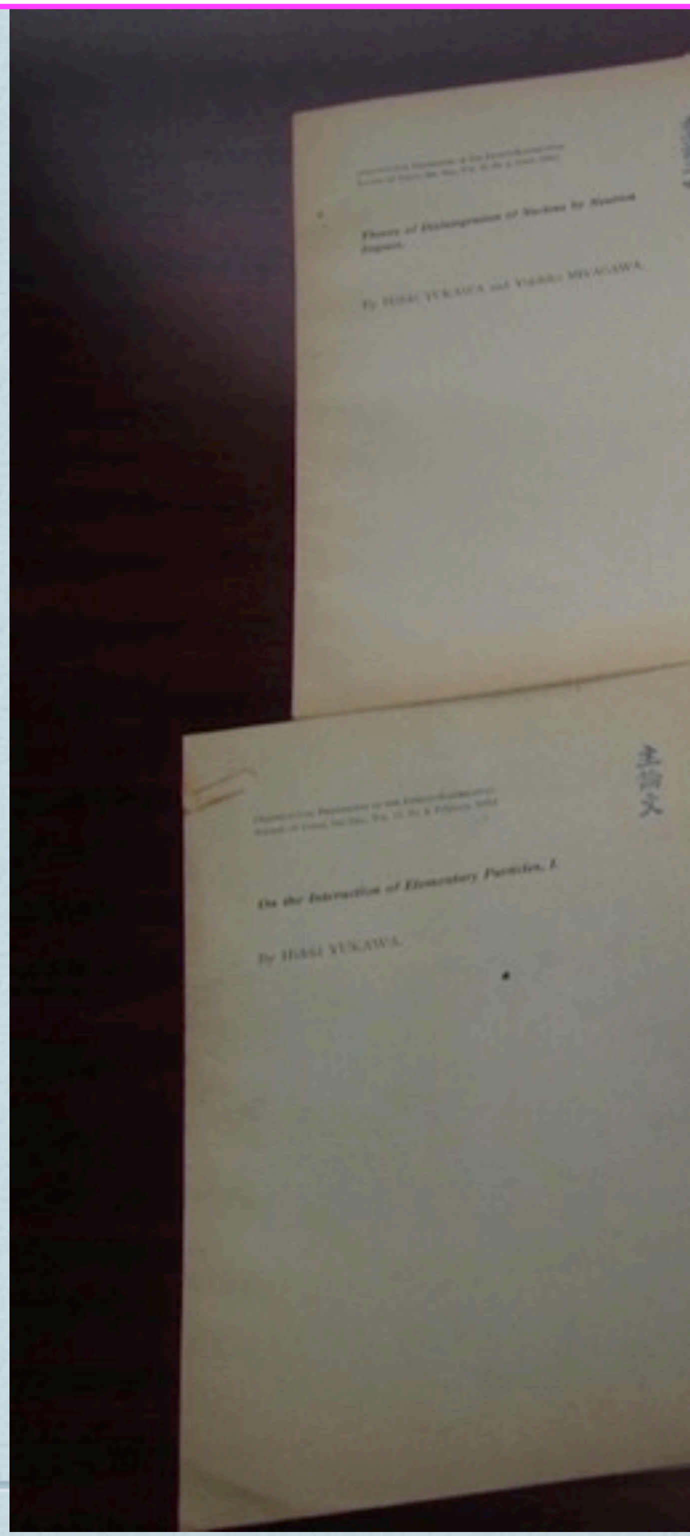
現代の素粒子物理学の幕が
大阪大学で切って落とされた
1934

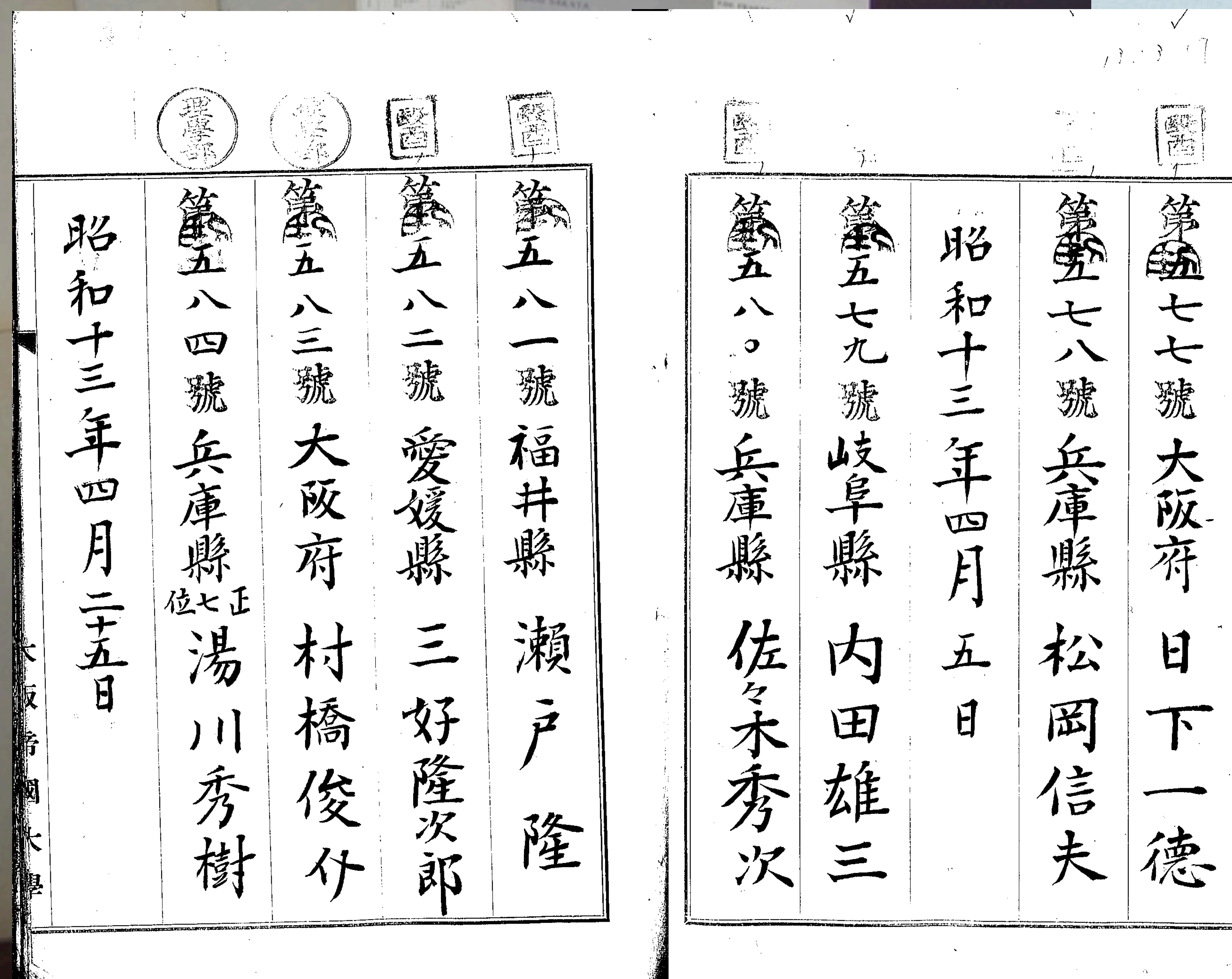
湯川秀樹の学位論文

大阪帝国大学　昭和13年(1938)4月5日授与　第５８４号

湯川秀樹の学位論文

大阪帝国大学　昭和13年(1938)4月5日授与　第５８４号





第五七七號　大阪府　日下一德

第五七八號　兵庫縣　松岡信夫

昭和十三年四月五日

第五七九號　岐阜縣　内田雄三

第五八〇號　兵庫縣　佐々木秀次

第五八一號　福井縣　瀬戸隆

第五八二號　愛媛縣　三好隆次郎

第五八三號　大阪府　村橋俊介

第五八四號　兵庫縣　正七位　湯川秀樹

昭和十三年四月二十五日

大阪帝國大學

学位論文

物理研究の黄金期 1934 - 1938

主論文　Hideki Yukawa
On the Interaction of Elementary Particles, I. (Nov. 30, 1934)
参考論文１　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
On the Theory of Internal Pair Production (Aug. 22, 1935)
参考論文２　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
On the Theory of the ß-disintegration and the Allied Phenomenon (Sep. 5, 1935)
参考論文３　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
On the Efficiency of the gamma-Ray Counter
参考論文４　Hideki Yukawa and Yukihiko Miyagawa
Theory of Disintegration of Nucleus by Neutron Impact (Feb 28, 1936)
参考論文５　Hideki Yukawa
Elementary Calculations on the Slowing Down of Neutrons by a Thin Plate (July 20, 1936)
参考論文６　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
Supp. to "On the Theory of the ß-disintegration and the Allied Phenomenon" (Dec 26, 1935)
参考論文７　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
On the Nuclear Transformation with the Absorption of the Orbital Electron (February 18, 1937)
参考論文８　Hideki Yukawa and Shoichi Sakata
On the Theory of Collision of Neutrons with Deuterons (April 7, 1937)
参考論文９　Hideki Yukawa
On a Possible Interpretation of the Penetrating Component of the Cosmic Ray (July 5, 1937)

大阪帝国大学　昭和13年(1938) 4月5日授与　第５８４号

1937年1月　新粒子（ミューオン）発見さる

1937年7月　湯川の学位論文の参考論文９

On a Possible Interpretation of the Penetrating Component of the Cosmic Ray

SHORT NOTES

On a Possible Interpretation of the Penetrating Component of the Cosmic Ray.

By Hideki YUKAWA.

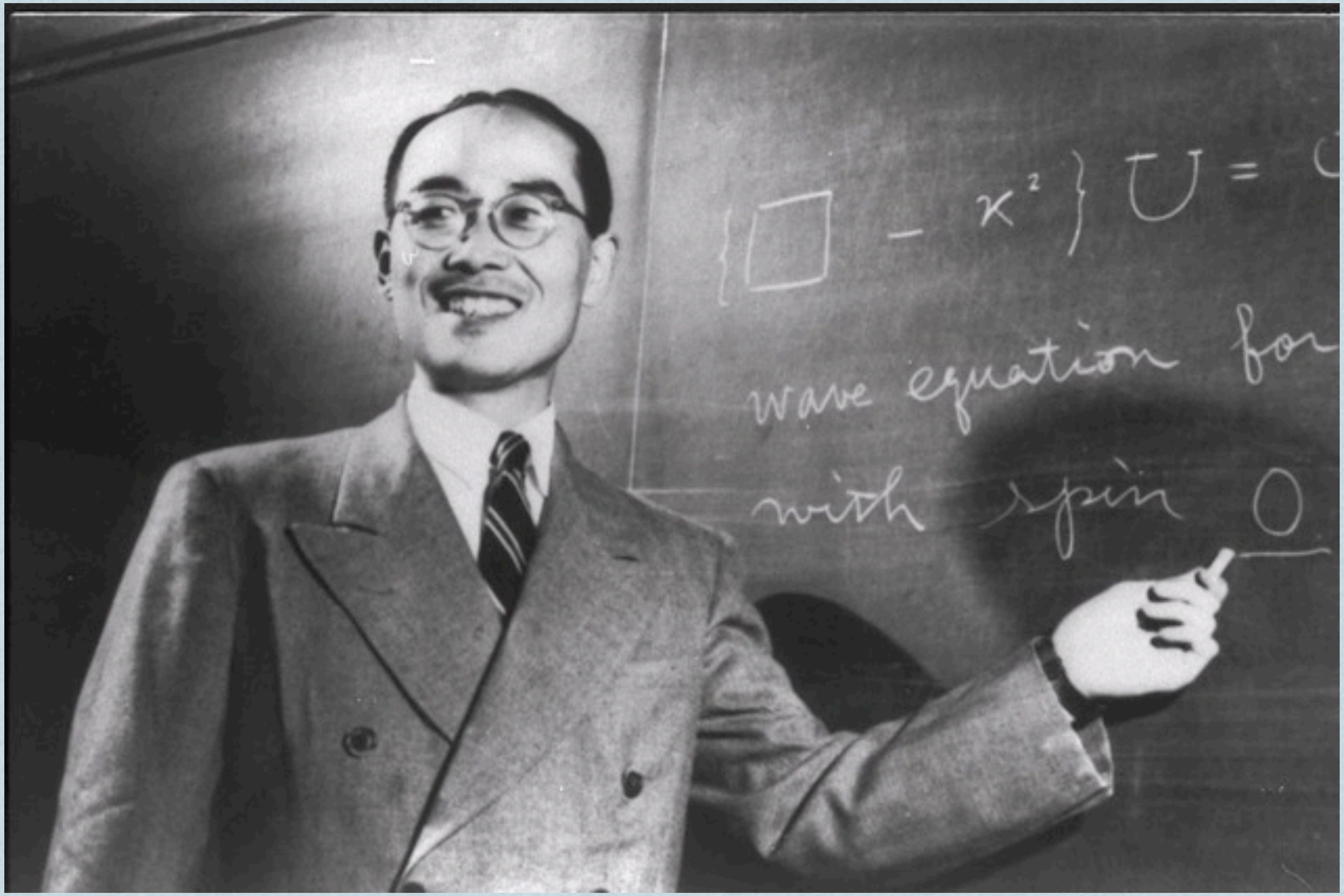
宇宙線に日本名

YUKON＝湯川博士の學説

隱忍三年　遂に世界制覇

大阪朝日新聞 1938.10.9

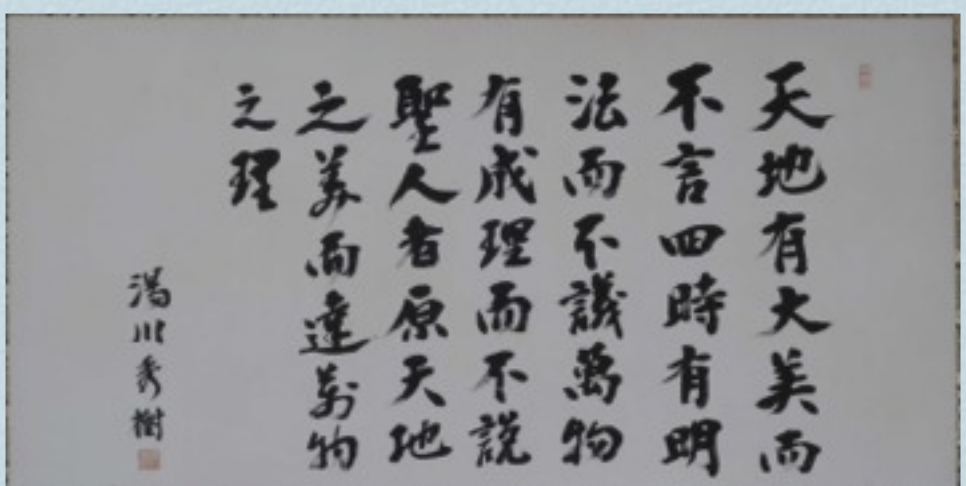
1947年1月　パイ中間子、発見さる
1949年12月　ノーベル賞受賞



1949年　コロンビア大学にて

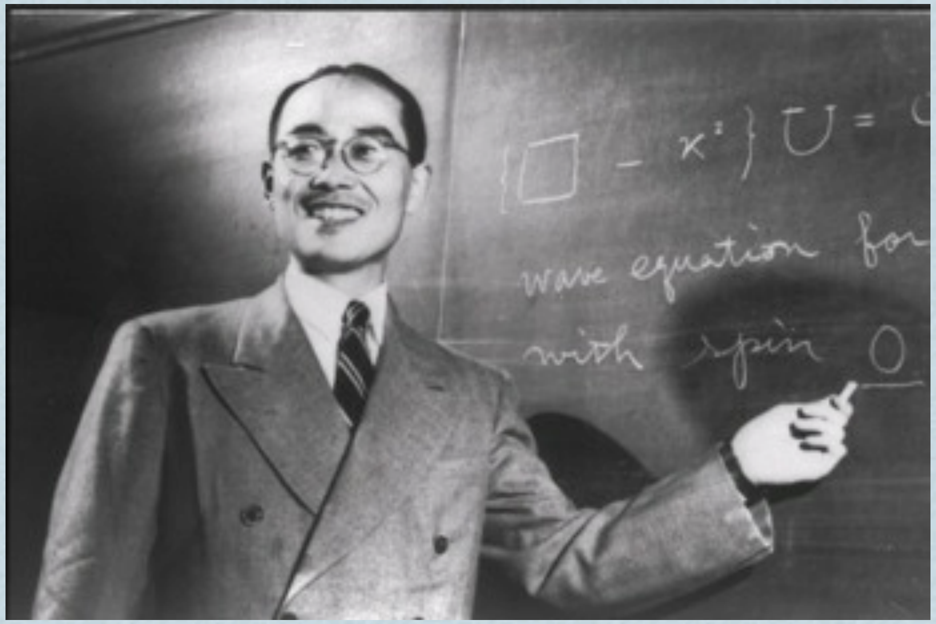
1950年 大阪大学（大阪大学名誉教授となる）

1953年 プリンストン



大阪大学理学研究科長室に掲げられた書

コロンビア大学から
大阪大学へ



湯川が教授室で愛用した
黒板（石盤）

除幕式へ